

「北信地区 学校図書館教育研究会を終えて」

飯水支部代表 飯山市立泉台小学校 竹田 肇

平成30年度「北信地区学校図書館教育研究会」は、10月30日（火）午後、飯山市立泉台小学校及び飯山市立城北中学校を会場として、以下のように開催されました。充実した研修の時間となりました。

1 研究テーマ 「豊かな心を育てる図書館教育のあり方」

2 公開授業・授業研究会

	授業学年・授業者	単元名	助言者
泉台小学校	小学校3年 田中史奈 教諭	「食べ物はかせになろう」 国語科	総合教育センター 専門主事 依田 学 魁
城北中学校	中学校2年 関口祐子 教諭	「昔の人のものの見方や考え方に 触れよう」国語科	北信教育事務所 指導主事 古旗 明 魁

3 講演会 講師 長野県図書館協会副会長 林 尚江 先生

演題 「これからの学びに学校図書館をどのように活用したらよいか」

北信地区の各学校から、学校図書館司書の皆さん、学級・教科担任の先生方など、小学校に31名、中学校に35名、講演会に76名の参加をいただきました。

公開授業については、「子どもたちの調べ学習が探求的であったように思います。それは、前時までの授業であったり、今日の授業の中での先生の声かけであったり（「えー、先生知らなかった。」など）、それが子どもたちの意欲につながっていたと思います。」「その子にとって写真がふんだんに使われた本が大変役立っていた。そのような本が準備されていたことがとても良かった。」「子どもたちが迷わずに調べられる量の本が用意されていて、積極的に本を活用して調べている姿が見られました。（うらやましいです。）何を調べるかという目的がはっきりしていたこととまとめやすいワークシートのおかげで、子どもたちは自分の調べたことをうまく整理していたと思います。」（小学校）「城北スタイルで全職員が取り組んでいるという学習スタイルと図書館教育とが絶妙にミックスされていて、素晴らしい授業と研究だと思いました。」「ただ『図書館で調べよう』ではなく、司書の先生と協力して子どもたちが調べやすいようにしたり、ジグソー法を用いて、より多くの資料に目が向いたりできるようにする工夫があり、とても参考になった。」（中学校）などの感想をいただきました。

講演会講師の林先生からは、学校図書館そのものの歴史的経緯、目的、機能、これからの時代に学校図書館の果たすべき役割や可能性について、また、学校司書、司書教諭、担任の役割など、示唆に富んだお話をしていただきました。先生が現在取り組んでいる子ども読書活動応援センターの様子や茅野市での取り組みについてもご紹介いただきました。参加された学校図書館や公立図書館の司書の先生方にも学ぶことの多い講演会だったと思います。